

掲載日 (2022/05/25)

書籍の概要

「幸せの形は人それぞれ」

幸福の話をするとき、必ずと言っていいほど話題に上がる考え方です。幸福はウェルビーイングとも呼ばれ、OECD や日本政府においても政策立案への活用が検討されています。

近年、大規模なアンケート調査が世界各国で行われるようになり、そのアンケート結果を「統計的に」分析することで、もちろんバラツキ（外れ値）はあるものの、大部分の人々に「共通の傾向」があることが実証的な学問領域（たとえば心理学、経済学）で見出されてきています。

著者らは 2010 年頃から 10 年以上にわたり、大規模な幸福度に関するアンケート調査を実施するチャンスに恵まれました。本書では著者らが行ったアンケート調査の分析結果を紹介しながら、幸福度に関する学問がこれまで幸せについて何を明らかにしてきたかを整理し、紹介していきます。

著者から一言

「将来の環境制約のもとでは日本は現在よりも消費を減らしていく必要があります。本書の特色の一つは『持続可能な消費』の観点から、少ない消費でも幸福度を高めていくための方策について提言を行っているところにあります。

特に、世界で最も幸福と言われるフィンランドと先進国で最低水準の幸福度とされる日本を比較することで、日本が将来幸福度を高めていくための検討材料を提示しています。

経済発展が先進国を中心に幸福度増大に結び付きにくい状況が問題視されている中、Beyond・GDP に向けた議論に幸福学の観点から一石を投じることができれば幸いです。」

経済学研究院 藤井秀道

【お問合せ先】

九州大学 経済学研究院 藤井秀道 (フジイヒデミチ)

E-Mail : hidemichifujii*econ.kyushu-u.ac.jp [*を@に換えてください]

幸福の測定

ウェルビーイングを
理解する



鶴見哲也
藤井秀道・馬奈木俊介

社会を生きる処方箋

世界最大規模・国内最大規模の
調査からわかった
"幸せの形"の最新成果を紹介。

中央経済社

幸福の測定：

ウェルビーイングを理解する

鶴見哲也、藤井秀道、馬奈木俊介 著

中央経済社/293 ページ/2021 年 11 月出版

目次

第 1 章 ウェルビーイング（幸福）とは

第 2 章 日本の幸福度

第 3 章 お金と幸福度

第 4 章 人とのつながりと幸福度

第 5 章 働き方と幸福度

第 6 章 住みよさと幸福度

第 7 章 幸福度の地域別比較

第 8 章 国内 47 都道府県における
人々の選好の比較

第 9 章 大都市における人々の選好の比較

第 10 章 東京 23 区における人々の選好の
比較